

九重の高原から

TAKE FREE

九重ふるさと自然学校通信

Vol. 41

2018. 夏号

# さとばる時間

九重のさとばる【里の草原】で育まれてきた自然や文化、そしてそこに流れるようなのんびりとした時の流れを感じてほしいという願いを込めて、「さとばる時間」と名付けました。

風  
の  
み  
え  
る  
場  
所

草  
原  
へ  
で  
か  
け  
よ  
う  
!

- ドコいこう?? 九重の草原4選
- 時を超えて～草原とヒトのHISTORY～
- かずくん昆虫記
- 「草原と森林にすむチョウの保全活動」
- 体験プログラム(自然・里山)参加者募集!
- STAFFあとがき



一般財団法人  
セブン・イレブン記念財団

九重ふるさと自然学校



# 風がみえる場所 草原へでかけよう！

草原は地球の陸地の約4割に達すると言われます。草原といってもアフリカの熱帯サバンナや北・南極のツンドラなど気候によってさまざま。温暖で雨が多い日本では、一部の場所を除き、自然のまま残る草原はありません。ほとんどが森になってしまうからです。そのため、野焼きや採草(草刈り)、放牧など、人間が手を入れることで、草原環境が残されてきました。今では見ることの少なくなった草原は、特別な場所。この夏、草原へ出かけてみませんか？

## ①タデ原湿原

木道完備！車いすOKのバリアフリー。雄大な景色と四季折々の草花を楽しみながら散策できる。隣のビジターセンターで九重の自然情報も聞いてみよう



## ③一目山

九重スキー場の目の前！山のとっぺんまで草が波打つ美しさには惚れ惚れ。登山道を歩き、山頂からは阿蘇と九重連山が望めるパノラマビュー!!



## ②おにぎり山

飯田高原最大級の草原が広がる泉水山の一角。青少年の家から、おにぎり山を巻きながら山頂をめざす絶景ルート。山頂は草のひろば！ピクニックに最適



夏の草原は  
草花の宝庫！

気軽に  
楽しめる  
九重の草原  
4選

### 《草原MAP》



## ④九重自然教室「さとばる」

手前味噌!? 九重ふるさと自然学校のちっさな草原は癒しの空間。草原の小径では、生きものと同じ目線で散策でき、夏はチョウの舞い、秋は鳴く虫のオンステージ!



### マダニ&草まけにご用心

肌の露出は虫に刺されたり、肌がかぶれたり危険！  
夏でも長袖・長ズボンを着よう



生きものは  
採らないで

### 熱中症に気をつけて

草原は日陰が少ないので暑さと日焼け対策は万全に！  
飲み物、帽子、タオルを準備しよう







昭和30年代の長者原。採草風景

# 時を超えて 草原とヒトの HISTORY



飯田高原から由布院までつづく草原

## ●人の手による草原の歴史はいつ頃から？

約1万年前、火を使い始めた縄文人の時代からではないか、と言われています。  
狩りのため？焼き畑？その目的は不明です…

## ●火入れの時代を紐解くのは、土!?

草原で発達したと言われる「黒ボク土」。この土にはイネ科植物由来の成分や火入れによって生じたと思われる炭化物が含まれます。約1万年前から生成され、また黒ボク土以外の堆積物の成分からも過去1万年の間に火事が多発してきたことが明らかになっていることから、縄文人などによる火の使用が強く関与したのではないかとされています。

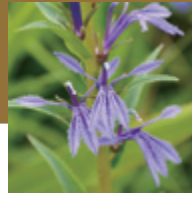
## ●日本にもともと牛馬はいなかった！

牛や馬は古墳時代に大陸から日本へ渡来しました。奈良時代以降は、軍用馬などの育成で牧(牧場)が築かれ、また人々の生活でも牛馬は田畑を耕す存在として活躍し、彼らを飼育するためには草原＝放牧地・エサとなる草が不可欠でした。牛馬が草原の維持に一役買っていたのです。

※写真提供：九重厚生ホテル

## ●生き証人の草原の植物たち

今から1万年以上前は、現在よりもずっと寒かったため海面が下がり、日本と大陸が陸続きでした。ロシアや中国の方から、動物や人間と一緒に植物も日本に渡ってきました。草原や寒い環境が好きな生きものにとっては、標高が高く、草原が維持されてきた九重は居心地がよかったです。今でも植物を中心にその生き残りを見ることができます。



北から南下してきたサワギキョウ



大陸からやってきたヒメムリ

## ●いまの草原のすがた

草原の草は牛馬のエサの他に、茅葺きの屋根材や田んぼの肥料、衣服の材料等として活用し、日本人の暮らしと密接に関わってきました。明治時代には国土の約10%が草原でしたが、近年は1%未満にまで縮小。戦後に牛馬からトラクター、茅葺きから瓦への転換、化学肥料の登場など、草原の資源を使う暮らしが激変し、価値を失った草原は森や宅地に変わってしまったのです。九重などの草原は、美しい景観だけでなく、野焼き文化や生きものたちを保全していくためにも貴重です。



スタッフ朝倉の

## かずくん昆虫記

2013年4月から、九重自然教室「さとばる」にどんなチョウがすんでいるかを調べています。

チョウは人目につきやすく環境の変化に敏感なため、チョウの種類を見るだけで、その場所の自然環境が分かる生きものです。これまでに5科70種、計3,210個体(2018年5月現在)のチョウを確認しています。日本には240種を超えるチョウが確認されており、2.6haの敷地内にその約3割もの種類が確認できたことは驚きでした。

これは草原や雑木林、湿地など多様な環境があるためでしょう。確認した種類・個体数を草原と雑木林のどちらの環境を好むかで分けてみたところ、草原は24種1,658個体、雑木林は46種1,552個体でした。草原は雑木林に比べ種数は半分以下ですが、個体数はそれ以上！草原では毎年野焼きをしております。一方、雑木林は種数で7割近くを占めていました。雑木林は草原よりもさらに小規模にもかかわらず、これだけ多くの種類がいたことは2つ目の驚きでした。



## 「さとばるの住人 ～草原と森林にすむチョウの保全活動～」

この調査によって草原の保全だけでなく、森林環境の整備も必要と分かり、2016年度からはチョウをシンボルに「さとばるの森林づくり」をスタートしています。活動を重ねるごとにチョウの新たな発見があり、時には興奮を覚えます。生きものや森林づくりに興味がある方など、皆さまのご参加をお待ちしています！



このチョウはなんだ??

## さとばるの森林づくり 参加者募集!

7/15(日) 10:00～15:30

- ・森林と草原のチョウしらべ
- ・苗木まわりの下草刈り
- ・外来植物の引き抜き
- ・天然水!流しそうめんの昼食付き

8/19(日) 10:00～15:30

- ・森林と草原のチョウしらべ
- ・チョウの食草さがし
- ・外来植物の引き抜き

参加費無料/小学生以上対象/定員各回15名

\*平成30年度大分県森林環境税を活用して実施します

# 自然・里山へGO! 体験プログラムに参加しませんか?

## 夏のタデ原バードウォッチング

7/7(土) 早朝5:00~8:00  
早起きして早朝の鳥のコーラスを聞こう!  
双眼鏡の正しい使い方もマスター!!  
大人500円//子ども(小・中学生)300円  
定員10名

## 秋のボランティアdayキャンプ ~大人の稲刈り祭り~

9/22(土) 10:00~17:00  
鎌を使った稲刈りと掛け干しを行います。  
昼食は竹筒を飯盒にした炊飯に挑戦!  
参加費無料/学生・社会人対象/定員14名



## さとばるクラフトDAY 各回10:00~16:00

7/7日(土) セミ笛づくり  
セミが鳴くしくみを笛にしちゃおう!  
8/11・12(土・日) バードコールづくり  
鳥の鳴き声のような音が出る道具♪  
9/17(月)・10/8(月) ススキのフクロウづくり  
もふもふ可愛いフクロウのできあがり♡

バードコールは1回300円  
その他は200円  
**事前申込不要。**  
**時間内はいつでも体験可**



## 田んぼの生きものしらべ~秋~

10/13(土) 13:30~16:30  
秋のテーマは“バッタのくらし”。  
思いっきり生きものをさがそう!  
大人500円子ども(小・中学生)300円  
定員20名



## 九重のんびりハイク。 錦秋の九州自然歩道と温泉探訪

10/28(日) 9:00~16:30

ススキ輝く湿原と紅葉に染まる森林めぐり。下山後は名湯で癒しを!  
大人1,500円/子ども(小・中学生)1,000円/定員20名

掲載分は10月開催分までの現在募集中のプログラムです(未掲載のものはキャンセル待ち)。プログラムの詳細はホームページをご覧ください。11月以降の開催分も申込み受付中です!



ホームページはこちら

STAFF もとがき

九重町のカッコウの初鳴き情報を町民の皆さんから集めて6年目になります。今年一番の初鳴きは4/25。今年も長い旅を経て九重に戻ってきてくれたカッコウに感動。そして「今年も聞いたよ～」と便りを寄せて下さる方々に感謝・感激です。(川野)



ほぼ毎週土曜・祝日にさとばるを開園中。7~9月はお子様向けにクラフトDAYを開催します! 夏休み期間の8/4~12は、平日含めて毎日開園。個性豊かなスタッフがお待ちしております。(空中浮遊中! 指原)



株ごとに少しずつ色の違うピンク色が、緑色と相まってくじゅう連山を美しく彩ります。今年もミヤマキリシマが見事でした。他のツツジより花が小さく、濃い色になるのですが、たまに白花もあります。見つけたらラッキー☆(児島)



お問合せ

## 九重ふるさと自然学校

(運営:一般財団法人セブン・イレブン記念財団)

〒879-4911  
大分県玖珠郡九重町大字田野1624-34 (事務所)  
TEL 0973-73-0001 FAX 0973-79-3434  
✉ kujyu-sizengakkou@7midori.org

ホームページ <http://www.7midori.org/kokonoe>

facebook でも情報発信中!



さとばるMAP



事務所MAP